

仕入先 重大災害速報(改訂版)

駐車したトラックが動き出し、 トラックと保安詰所の間で身体を挟まれ受傷

工場	技術ブロック敷地内			発生日時	2008年8月21日(木)8時45分頃
所属	K社			場所	技術部 東通用門
勤続	約20年	年齢	65歳	傷病名	確認中
経験	約20年	職位	-	程度	死亡

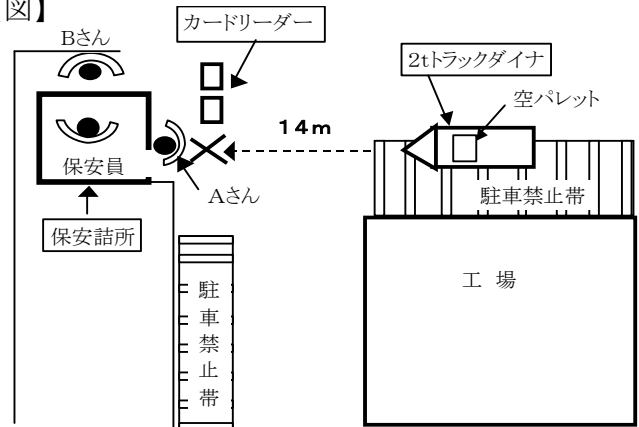
【発生状況】

- ▼受傷者 A は、技術部内のエコステーションの産廃回収業務を開始した。
- ▼A はトラックに空パレットを積んだ後、倉庫にある別のパレットを積もうとしたが、倉庫はカギが掛かっていた。
- ▼先に作業者 B が歩いて保安詰所へ行き、空パレット倉庫のカギの借用手続きを実施していた。
- ▼後から現地に着いた A はトラックから降りて、B の手続きの進み具合を確認に行った。
- ▼その時、駐車しておいたトラックが何らかの原因で動き、トラックと保安詰所の外壁との間に身体を挟まれ、受傷した。

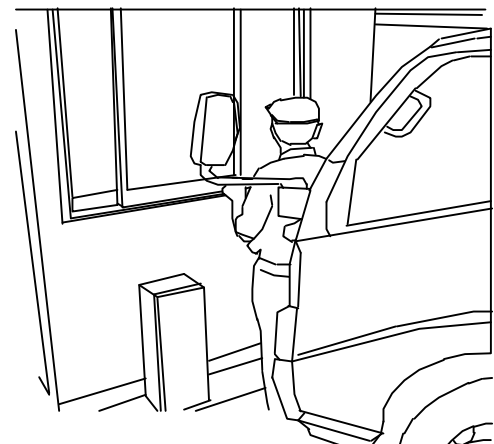
【補足】

- ・受傷者 A と作業者 B は共同作業者ではない。
- ・トラック：トヨタダイナ、積載重量 2.0ton
- ・トラックのエンジンは停止していた。
- ・現場はトラックから保安詰所に向けて下り傾斜(7~9 度)があった。
- ・トラックが止められていた場所は駐車禁止エリア。
- ・K 社は技術構内の産廃回収を請け負っていた。

【図】



【平面図】



▼「車両から降りる場合」の安全確認として、次項を見直し作業要領書の中に明記すること

1. 駐車する場合、指定位置に止めること(駐車禁止位置には止めない)
2. 運転席を離れる場合は、①エンジンを停止し、②サイドブレーキを確実に掛けること
次に③「輪留め」又は「ギヤ」を入れる
 - ・ 荷降ろしの他、作業を伴う場合は、輪留めを確実にすること
 - ・ 傾斜路面に止めざるを得ない場合は、輪留めを確実にすること
 - ・ 輪留めができない場合、AT(オートマチック)車は「P」レンジに、MT(マニュアル)車は「1 速か R 速」ギヤにいれ確実に止めること
3. 車両系荷役運搬機械を使う作業において、運行計画・経路を再点検し安全な作業や安全な運搬作業ができない(やりにくい)問題点を吸い上げてください。(別紙・調査票)
4. 吸い上げた問題点は、危険有害情報として発注部署に情報提供・提案ください
(提案しづらい場合、協力会事務局に申し出てください)

協力会としての対応